

施策	5401 文化芸術活動の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	文化会館における指定管理者制度の導入、文化施設等の修繕・充実、文化祭等の文化活動の推進等を図る。							
成果指標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	241,000.00	270,000.00	271,000.00	272,000.00	273,000.00	
		実績	235,476.00	268,020.00	298,020.00	358,881.00	340,173.00	
	成果指標2 [団体]	予定	312.00	390.00	393.00	396.00	400.00	
		実績	326.00	395.00	361.00	366.00	372.00	
		単位コスト	1,288.32	884.29	924.29	1,008.65	995.06	
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	403,476	353,030	330,585	321,298	424,346		
	実績	419,993	349,295	333,668	369,166	370,161		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の成果指数の目標値80%を達成するためには、魅力ある文化会館自主事業や美術館企画が必要であるため本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	文化会館等の入場者数は、魅力ある事業実施したことにより目標を達成した。しかし、文化祭参加団体数は、文化団体の解散や休会等により未達成となった。						
	課題	それぞれの地域で活発な文化活動が行われているが、団体間や地域間の交流が充分とさえいえない状況であることが課題となっている。						
	取組方針	各地域の文化団体で組織されている栃木市文化活動協議会の活動を支援し、団体間及び地域間の交流、情報交換等がさらに進展するようにする。						
外 部 評 価	文化施設年間入場者数は計画期間を通じて目標を達成しているものの、文化祭参加団体数の目標未達が続いており、一層の団体育成や市民への普及啓発が求められる。 内部評価にあるような団体間の交流や情報交換だけでなく、若い世代への普及啓発を図るべく、SNSを活用した情報発信や教育の場において文化に触れる機会を作ることが必要だと思われる。 スポーツや観光など異なる団体との交流も有効だと考えられるため、庁内での横の連携を図り、新たな取組みを検討されたい。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	570101	ふるさと文化振興基金積立金				6,881	100	
	570301	文化課一般経常事務費				2,366	100	
	570401	文化補助金				8,459	100	
	571001	文化振興推進事業費				8,173	100	
	572101	とちぎ蔵の街美術館特別企画展等開催事業費				13,062	100	
	572301	とちぎ蔵の街美術館運営費				19,724	100	
	713401	歌麿の愛したまちとちぎ事業費				5,657	100	
	734401	文化会館施設改修事業費				48,824	100	
	739006	岩舟文化会館管理運営委託事業費				35,436	100	
742401	歌麿を活かしたまちづくり事業費				7,050	100		

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	5401 文化芸術活動の推進		
区分	妥当性	妥当	市民・文化団体等を対象として文化芸術活動の推進を図ることは妥当である。
	コスト削減の余地	有	公共施設再編に伴い、施設統合等によりコストが削減できる可能性がある。
	受益者負担	適正	施設利用者には、妥当な受益者負担を求めており、適正である。
	上位貢献度	有効	美術館の企画や文化会館の自主事業は、上位計画に大いに貢献している。
	類似事業の有無	無	他に類似する事業はない。
	成果向上の余地	有	文化会館の自主事業及び美術館の企画等の内容や、団体への活動支援方法について検討の余地がある。
内部評価 【H29年度分】	貢献度	上位施策の総合計画に掲げる「文化芸能活動等の参加者の満足度」の目標値達成のためには、美術館の企画展や文化会館の自主事業を魅力あるものにすることが必要であり、本単位施策内の事務事業の貢献度は高いと判断した。	
	達成状況	文化会館等年間入場者数については、美術館の企画展や文化会館の自主事業を魅力あるイベントを実施したことにより、目標を達成することができた。 文化祭参加団体数については、会員数の減少等により解散や休会する団体があるため、当初の見込みを下回り、前年度実績と比較すると微増となっている。	
	課題	各地域の文化団体が、活発に文化活動を行っているが、その活動の大部分は、地域内又は団体内にとどまっている。市全域の文化振興を図るため、地域間や団体間の交流が不可欠と考えるが、現在充分とは言えない状況であることが課題となっている。	
	取組方針	各地域で行われている文化関連事業の相互交流や情報提供等により地域間や団体間の交流を活発になるよう、市全体の組織である栃木市文化活動協議会等に働きかけを行う。	
内部評価 【前期5年分】	貢献度	上位施策の総合計画に掲げる「文化芸能活動等の参加者の満足度」の目標値達成のためには、美術館の企画展や文化会館の自主事業を魅力あるものにすることが必要であり、本単位施策内の事務事業の貢献度は高い。	
	達成状況	文化会館等年間入場者数については、美術館の企画展や文化会館の自主事業を魅力あるイベントを実施したことにより、各年度目標を達成することができた。 文化祭参加団体数については、目標に達してはいないが、目標値に向け増加傾向にある。	
	課題	各地域で組織されている文化団体は、合併後の平成25年7月に栃木市全域を統括する組織として栃木市文化活動協議会が設立された。しかし、各文化団体の活動は地域内が主であり、地域間の交流は充分とは言えない状況であることが課題となっている。	
	取組方針	構成団体である各地域の文化団体の相互交流や情報提供等により、栃木市文化活動協議会の強化を図るとともに、様々な施策により本市に文化振興を図る。	